

「検事長の勤務延長に関する閣議決定の撤回を求め、  
国家公務員法等の一部を改正する法律案中の検察庁法改正案に強  
く反対します」

今、国会で協議が進められているこの改正案は、検事長らの定  
年を内閣や大臣に委ねるもので、三権分立に反し、不偏不党の職  
務遂行が求められる検察の政治的中立性と独立性が侵害される道  
を開くものです。

新型コロナウイルスの感染拡大という問題解決に集中すべき時  
に、政府がこのような危険極まりない改正案を取り上げ十分な議  
論もなしに成立を急ごうとするのは、安倍首相が新型コロナウイ  
ルスに対する対応の中で改憲の必要性を語り続けていることを思  
うとき、大きな危惧を抱かざるを得ません。

私たちは、聖書を通して、為政者が神から与えられた分を超え  
て事を為そうとしたときに大きな過ちを起こすことを知らされた  
者として、政府が今国会で進めているこの法案に強く反対します。

2020年5月12日

日本キリスト教会

東京中会靖国神社問題特別委員会

委員長 上山修平